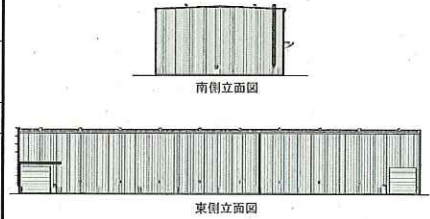


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	朝日工業株式会社 埼玉工場 新築	階数	地上1F	
建設地	埼玉県児玉郡神川町大字渡瀬字田	構造	S造	
用途地域	用途地域無指定、防火指定無指定	平均居住人員	5人	
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年6月27日	
敷地面積	2,668 m ²	作成者	黒澤聡	
建築面積	2,385 m ²	確認日	2018年6月27日	
延床面積	2,376 m ²	確認者	上野陽一郎	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.4 ★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% #DIV/0!</p> <p>②建築物の取組み 100% #DIV/0!</p> <p>③上記+②以外の 100% #DIV/0!</p> <p>④上記+ 100% #DIV/0!</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	<p>Q2 サービス性能</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.4	Q3のスコア = 1.3
音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.	機能性: N.A. 耐用性: 3.2 対応性: 3.6	生物環境: 1.0 まちなみ: 1.0 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 2.0	LR2のスコア = 2.8	LR3のスコア = 2.8
建物外皮の: N.A. 自然エネ: N.A. 設備シスト: N.A. 効率的: 2.0	水資源: 3.0 非再生材の: 2.5 汚染物質: 3.7	地球温暖化: N.A. 地域環境: 2.7 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>・これはCASBEE-新築(2016年版)による評価結果です。</p>		その他
<p>Q1 室内環境</p> <p>・評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・耐用年数の長い内装材・外装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</p> <p>・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>・特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・特に無し</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・発泡系断熱材は使用していない。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
朝日工業株式会社 埼玉工場 新鋼材倉庫建設計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.2	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能			0.43			3.4			
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性		3.2	0.50			3.2			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.33						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	耐用年数の長い外装仕上げ材を使用している。	5.0	0.33						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数の長い内装仕上げ材を使用している。	5.0	0.17						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.17						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	-						
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	-						
2.4 信頼性		2.7	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.25						
2 給排水・衛生設備		-	-						
3 電気設備		3.0	0.25						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.25						
5 通信・情報設備		2.0	0.25						

3 対応性・更新性			3.6	0.50	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高:3.9m以上		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率は0.12である。		4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.3	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			-	-	-	-	
2 給排水管の更新性			-	-	-	-	
3 電気配線の更新性	仕上材を痛めず更新が可能である。		5.0	0.17	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.17	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.33	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.33	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = -		-	-	-	-	-
4 効率的運用			2.0	1.00	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	発泡系断熱材の採用はない。		4.0	1.00	-	-	
3 冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	
2 地域環境への配慮			2.7	0.50	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止	燃焼機器の設置は無い。		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	朝日工業株式会社 埼玉工場 新鋼材倉庫建設計画	BEE	0.4	BEEランク	★
------	-------------------------	-----	-----	--------	---

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
0.0	+	1.6	=	1.6	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
	 	  	   		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

 :入力欄